



第2740地区 創立/1990年9月29日 認証/1990年10月22日

佐世保中央ロータリークラブ週報

会長：馬場 貴博 / 副会長：宮崎 正典 / 幹事：片桐 康利



2023～2024 年度クラブスローガン

はがにいっしょう

「破顔一笑」

みんなで語り合えるクラブになるために

週報編集 / 公共イメージ・会報委員会：山口 裕之、川上 仁哉、西村 浩輝、古川 直記、四元 清安、田中 啓輔、倉科 聡一郎、藤井 寿人

本日の出席率75.50：会員数53名・出席29名・欠席11名・出席規定免除会員5名・ビジター0名
前々回の修正出席率91.83%：出席34名・メイクアップ2名・出席規定免除会員9名



会長挨拶 / 馬場 貴博君



皆さん今晚は、先週の家族納涼例会には沢山の御参加を頂きありがとうございました。4年ぶりの家族を迎えての納涼例会は如何でしたでしょうか？

さて、心配された台風6号の被害はありませんでしたか？溝上パスト会長、瓦の修理で忙しくありませんか？思っていたような被害は出ていないように感じます。

昨日は長崎の原爆記念日でした昭和20年8月9日の11時2分今から78年前の事でした。この時の被害者は死者が7万3千884人負傷者が7万4千900人でだそうです。その当時の長崎市の人口が24万人で約半数の方々が何らかの被害、負傷を追われたこととなります。今まで平和と思われた世の中に現在ウクライナではまた同じようなことが起こりえる事態となっています。自分たちも今一度平和のありがたみ、日常へのありがたさを考えることが必要な時代になりつつあると思います。RI会長の「世界に希望を生み出そう」というテーマがまさしくタイムリーな言葉だと思います。因みに現在日本人の7割が原爆の記念日、広島・長崎の事を知らないそうです。

さて、本日は新入会員の卓話の時間になります。今年度は会員増強で会員数60名を目指しております。早速口切になった古賀勝会員と古賀友里恵会員の話を楽しみにお聞きしたいと思います。例会後は歓迎会を準備しておりますので時間がある方は御参加宜しく願い致します。

先日の納涼家族例会にご参加頂いた皆様ありがとうございます。楽しい時間を過ごさせて頂き、親睦例会活動委員会の皆様には感謝致します。



ニコニコボックス

馬場 貴博会長・宮崎 正典副会長・片桐 康利幹事

先週の納涼家族例会にご参加頂いた皆様ありがとうございます。楽しい時間を過ごさせて頂き、親睦例会活動委員会の皆様には感謝致します。

本日の例会プログラムは、7月に入会頂いた古賀勝くん・古賀友里恵くんの卓話となっております。昔からよく知るお二人が、どんなお話をされるのか非常に楽しみです。本日もどうぞよろしく願いいたします。

四元 清安君

先日の納涼家族例会は欠席ですみませんでした。

前田 眞澄君

馬渡圭一様の中央会取り切り戦、優勝誠におめでとうございます。馬渡君がクラブ会長になられた時の取り切り戦トロフィーは私がゲットしたいと思いますが、それまで身が持つか心配です。もう中央クラブには、居ないかもしれません。私のゴルフでの永遠のライバルである本田実パスト会長はその頃には絶対いないと思います。まだ、元気頑張っていますかね。

馬場 貴博君

古賀勝会員と古賀ゆりえ会員の卓話楽しみにしています。

八重野 一洋君

こんばんは。先月末不覚にもコロナ感染してしまいました。5日間で陰性となりましたが、先週土曜日の納涼家族例会は念のため欠席させていただきました。味覚障害が少しあるようで、お酒の味がよくわかりません。しばらく安いお酒で済みそうです。ニコニコします。

井手 陽一君

先月7月30日に行われました佐世保中央ロータリークラブ田雑杯におきまして優勝いたしましたのでニコニコします。大久保先生も久々に参加されたのしうでした。

田添 直記君

先週の土曜日に行われた納涼家族例会に参加いただきありがとうございます。それから、男性合唱団に入団された吉野君、稲次君、馬渡君の今後のご活躍を楽しみにしています。

筒井 琢磨君

先日の納涼家族例会の抽選会でダイソンの掃除機をいただき、ありがとうございました。嫁がダイソンの吸引力に驚いていました。

本日の合計	9,000 円
本年度の累計	295,000 円

**本日の卓話****◆ 新入会員卓話 ◆**

有限会社 立山印刷
部長 古賀 勝君
職業分類：印刷業



7月に入会いたしました、古賀 勝と申します。今日は立山印刷のこと、印刷業界のことを話そうと思います。

立山印刷は昭和31年、佐世保市大久保町で現在の社長である浩一郎の祖父、末廣が大阪の造幣局で技術を習得し、佐世保で創業いたしました。残念ながら、私は写真しかみたことがありません。2代目社長は、現社長の父、公造、ちょっと女性好きな社長で、バレンタインデーにいつも回っている市役所の女子職員からたくさんのおチョコレートもらってくるような人気者でした。3代目は浩一郎社長のおじに当たる、森山たかあきです。仕事が終わったあと、よく朝まで近くのファミレスでビールを飲みながら長々と話をする酒豪の社長で、東南ロータリークラブに所属していたそうです。そして、現在は、浩一郎社長、バイタリティある、多趣味な社長で、休みの日には朝から晩までウィンドウサーフィン、ゴルフ、ラグビーなどをやっている身長186cm、体重、もう少しで100kgの4代目、創業67年目になります。

創業当初は、活版印刷と言って、ひとつひとつの文字を組み合わせて文章を作り、印刷機に装着し印刷していくもので、家内制手工業そのものだったと聞いております。昭和56年に今の瀬戸越町に社屋を移し、立山印刷から有限会社立山印刷に法人成りし、当時は、年賀状印刷だけで従業員の冬の賞与が出ると言われるほど、年賀状の注文が多かったようです。が、今は、一般客、企業からの注文が少しくるくらいで、非常に少なくなっています。メールやラインでという個人の方も多く、活字離れしています。また、企業は経費削減で出さないところも多く、様変わりしてきました。

平成16年には、活版印刷ではなく、オフセット2色機を購入し、この機械はアルミ板に焼いたものを印刷機に装着し印刷する機械で、水と油の反ばつ関係を利用し、水が乗っているところはインクが乗らず、水がなく油性インクがのっている部分をブランケットと呼ばれるゴム製の胴に転写し、原紙に印刷するようなものです。今、NHKの朝ドラでやっている「らんまん」46話から54話くらいで万太郎が植物学雑誌を印刷するところをみている方はわかると思いますが、その話に出でくるせきはん（石版）印刷が原点と言われます。さらに平成22年には、オフセット4色機を購入、当時の価格で7000万円だったと聞いています。この機械は、CMYK、C、シアン（青）、M、マゼンタ（赤紫色）、Y、イエロー、K、キープレイトブラックいわゆる黒でフルカラー印刷することにより印刷が、鮮明できれいしかも早くできるようになりました。現在は、この機械を利用しあらゆるフルカラー印刷の注文に対応でき、佐世保の商業印刷の一翼を担っております。また、平成28年には、アルミ板など必要なくパソコンで作成したものをそのままダイレクトに印刷できるオンデマンド印刷機を購入しました。印刷物の校正、少量の印刷物などスピーディに印刷できる」、環境にも優しい印刷機械です。

今は、社員16名、製作スタッフ4名、印刷オペレーター4名、製本仕上げ作業3名、営業4名と経理1名で、毎日の朝礼8時25分から始まり17時30分まで月曜から金曜まで業務を行っています。土日祝日は一応休みですが、毎年12月から翌年の4月までは繁忙期で、仕事に出る日もあります。

私は、営業職で、一般企業、学校、県庁、国の出先機関などを担当しております。営業を始めた当時は、飛び込み営業などもやってきました。その時は、門前払いもされたこともあり、玄関に入って名前を言うとハイハイと返事されただけでろくに話も聞いてもらえない時もありましたが、そんな経験をしたお陰で、今は上手に多くのお客様と話をさせていただき取引をさせてもらっています。なんとといっても、お客様の「ありがとうございます」の一言が仕事の励みであり、やりがいになっています。

仕事の成果物としては、皆さんがよく知っている毎月佐世保市から各家庭に配られる「広報佐世保」を、印刷製本して市民の皆さんに届けております。また市内の印刷業界では、学校のPTA新聞の作成は「立山印刷」と言われるくらいにPTA新聞は数多く、幼稚園から高等学校まで広く注文を受け、デザイン、作成、印刷をやっていきます。企業関係では、会社案内、広告チラシ、帳票類、学校関係では、記念誌、入学案内、学校案内などあらゆる冊子、イベントチラシ、ポスターなど紙に印刷することならなんでもやっています。会社の始まりは造幣局での技術習得からですがお金紙幣の印刷は、捕まりますのでやっておりません。

近頃は、今年10月からのインボイス制度に向けた各種伝票、領収書の印刷を多く受注しております。まだ用意されていない方がおられましたら、ぜひこの機会に立山印刷をよろしく願いいたします。

さて、印刷業界のことも少し話します、印刷は、

出版印刷、(新聞、雑誌、書籍、教科書、コミックなど) 商業印刷、(ポスター、カタログ、パンフレット、チラシ等の宣伝印刷物、帳票印刷、ラベル・パッケージ印刷に分けられます。業界的には、1951年から1991年までは成長期、92年から98年までは停滞期、99年からは衰退へと推移して来ました。2019年にはコロナ禍で、旅行業、イベント事業などの印刷物が多い企業が低迷し通常の経済活動ができなくなり商業印刷も激減しました。それに加え会社でのペーパーレス化に拍車がかかり、また、後継者問題もあり廃業、倒産する印刷会社も多くなりました。2021年で印刷業界の総売上は3兆740億円、出版印刷、商業印刷で業界売上の5割以上を締めています。しかし、出版印刷は新聞も雑誌も漫画もデジタル化が進み、規模縮小が続く商業印刷が下支えしている状況です。2023年今年、コロナも季節性インフルエンザと同じ5類に移行し、旅行、イベントなどが行われ通常の経済活動ができるようになり、商業印刷の上昇も見込まれますが社会全体のデジタル化、ペーパーレス化に伴う印刷需要の減少は避けられません。

また、次世代の人材確保の難しさ、環境への取り組みなど大きな変革に迫られています。今後、私達、印刷に関わる企業はさらに付加価値の高い企画立案や差別化、事業領域の拡大、事業提携が必要となってきます。そんな中、立山印刷は前途多難ですが勝ち残る企業として、「お客様の満足度100%」、「会社の発展」、「社員とその家族の幸せ」を会社の経営理念とし、お客様と会社と社員が等しくともに満足し、喜び、発展を続けていく姿の実現こそが、社会に貢献するゆえんだと固く信じ、このことの実現のために、日々励み務めていきます。

先日、7月31日決算を迎え、来期に向けて立山社長と社員がさらに結束し社業に邁進していくことを確認し、立山印刷はこれからも70年、80年と成長していきます。100周年の時は私はこの世にはいないでしょう。立山印刷をよろしく願いいたします。

これで私の卓話、会社印刷業界の話を終わります。

き、より一層ワインを楽しんで貰えたら幸いです。



SAA：井手 陽一君
次回例会8月17日12：30～

memo

Blank lined area for notes.

有限会社 ゆーず
部長 古賀 友里恵 君
職業分類：酒造販売業



① ワインの種類、テイस्टینگについて

- ・赤、白、ロゼ、スパークリング、それと最近流行りのオーガニックワインであるオレンジワインについて
- ・簡単な作法の紹介
- ・ワインに空気を含めるとより一層香りを楽しめる

② 食事とのマリアージュについて

- ・お食事に合わせたワインについて

価格は関係なく、安いワインでも良いので単一品種のワインを色々試して、お好みの品種を見つけて頂